

キャラクター名  
鷹宮 杏子

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ハヌマーン		ワークス	何でも屋	カヴァー	警視庁捜査官警部補
	オプショナル		年齢	31	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	自傷	初期侵食率	36	%
出自	政治権力	経験	絶縁	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	45
肉体	3	1	3	4		11	行動値	20
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	20
精神	2	0	0	1		3	戦闘移動	25
社会	2	0	0			2	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	21		射撃			RC			交渉		
回避	21		知覚	9		意志	8	2	調達	3	
運転:			芸術:ピアノ	6		知識:			情報:噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
月光ソナタ	交渉	2r				D+3/C-1(min:6)/HP+5D10+2
回避	白兵	15r+21				@7 2+3 HP-3/《42~70》
氷炎の剣	白兵	11r+19	6	21		白兵武器作成 攻撃力+[LV+6] 命中-2
通常攻撃	白兵	18r+19		31		@7 1+4/+3 HP-3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
応急手当キット	
思い出の一品	
思い出の一品	
メモリー:クローネ(P;遺志)	
R拘置所	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:究極のゼロP		N		
○エル	P 純愛	N 恐怖		
○シラミネ=ウゲツP	P 信頼	N 嫌気		
○古賀雅也	P 誠意	N 不安		
銀影	P 尽力	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
先手必勝	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 【行動値】+[LV*3]/基本浸食+4								
エンジェルボイス	3	4	Xジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: C値を-1(min:6)&判定D+LV								
癒しの歌	5	2	Xジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: HP(LV)D+【精神】点回復								
波紋の方陣	5	3	オート	視界	単体	自動	80↑	
効果: ダメージ-[LV+1]D/1R1回/ダメージ直前								
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果: 判定の直前/C値-1(min:5)/1リカ1回								
ゴッドウインド	1	10	オート	視界	単体	自動	120↑	
効果: 難易度:自動成功のI/F外打消し/E/F、【制限:-】以外は不可								
炎陣	1	-	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリング								
揺るぎなき心	1	1	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果: BS[LV+1]回復								
ライトスピード	1	5	マイナ	至近	自身	自動	100↑	
効果: Xジャー2回攻撃/1リカに1回、クリティカル値+1								
終末の炎	3	2	マイナ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 攻撃力+[LV*5]点消費したHP								
地獄の氷炎	5	2	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果: 氷炎の剣の攻撃力orG値+[LV*2]								
氷炎の剣	5	3	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果: 白兵武器作成、以下参照								
一閃	1	2	Xジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 全力行動+白兵攻撃/離脱不可								

元UGNエージェントの刑事

過去の事件を追ってキャリア組として警視庁捜査官警部補として編纂室勤務をしている。普段は編纂室で未解決事件の資料整理や調査もやっている。自分の人生を変えた犯人に復讐してやりたいという思いが強くある。

乱暴者で口が悪い。同居人とマンションで2人暮らしをしている。家事は出来るけど同居人にやらせる。人使いが荒い。ヘビースモーカーなのは自傷癖を抑える為であり、ムカついたら副流煙攻撃をしてくる。過去にUGNでやらかしたので基本的に呼ばれない限り自らは行かない。イリーガル。恋人がいたかは不明。記憶がない部分が多く、自分でもわからない。素材は割と美人の分類に入るのに、化粧が下手なのと威圧的な態度のせいか損をしている。幼い頃の経験上、社交界マナーは一応できる。しかし堅苦しいので必要と感じなければやらない。

父親が政治家のお偉いさんであり、権力者の一人娘。おしとやかだった。父親は覚醒したがまだ発見されていないオーヴァードをUGNに人材として紹介するビジネスをやっている。中学生15歳の頃に、母親がオーヴァードの何者かによって目の前で殺されている。その時、オーヴァードとして覚醒し、父親に人材としてUGNに行けと言われる事となる。母親を庇えずに見殺しにした事に対して何も反論も出来ず、父親の非情さに腹立たしさを感じた。その為、父親とは親子の縁を切っている。

